きよせだいじゅうしょうがっこう　児童数配付

学 校 だ よ り

清瀬市立清瀬第十小学校
校　長　　大谷　憲司

第５号
令和３年７月２０日

「十小ファミリーe ルール」

校長　大谷　憲司

いよいよ、子供たちが楽しみにしている夏休みがやってきますが、その夏休みの生活を有意義なものにする一環として、今号では１学期初めに各学年の全体保護者会でもお話しした、インターネットやタブレットの利用指針「十小ファミリーe ルール」についてお知らせいたします。警察庁の資料によると、近年、子供たちがSNSのいじめやネット上で知り合った人に誘拐された事件等、ネット関連の犯罪が年間２０００件近く発生しているとのことです。もちろんこれは氷山の一角で、表に出ないケースがさらに多いことは想像に難くありません。インターネットのメリットを享受しつつも、その影の部分から子供たちを守ることは喫緊の課題です。折しも、学校で本格的に一人一台のタブレット端末が貸与され、インターネットもこれまで以上に使えるようになるこのタイミングで、インターネットやタブレットを使うときのルールを改めて明確にすることが必要だと考え、今回のルール作成に至りました。ルールの構成は、「インターネットのルール」と、これから本格的に使用していく「タブレットのルール」の二本立てにしています。作成にあたっては、先行事例を参考にしながら、特にインターネットのルールについては代表委員会の児童が使用時間などの詳細について話し合って原案を決め、十小の会の役員の方や学校運営連絡協議会の方などに御意見をいただいて、形にまとめました。

「インターネットのルール」は、広くインターネットを使うときに、守るべき情報モラルを記載しています。特に御留意いただきたいのが、「使用時間」に関するルール、他者への誹謗中傷に関するルール、ネット上で知り合った他者との接触に関するルールです。まず、使用時間については、「朝６時から夜８時」「一日６０分まで」としました。この時間設定は、代表委員会の子供たちから色々な意見が出された中でこの時間に落ち着きました。もちろん、各御家庭の御事情（習い事の送迎連絡に必要等）もあると思いますので、最終的には御家庭で詳細な時間はお決めいただければと思いますが、メール、SNS 等の家族以外の他者との交流時間は、すべてこの時間内に限定することに御協力いただきたく存じます。時間の大枠を決めておくことにより、子供たちが互いに「学校で決まっているからもうやめよう」と言いやすくなり、いつまでもダラダラとメールや SNS を続けて学習や望ましい生活リズムの妨げになる問題を学校全体で防ぐことができます。また「一日６０分まで」は、調べ学習など学習でインターネットを活用した時間は除く、ということにしました。ある調査によると、インターネット活用と学力との相関関係を調べた際、一番学力が高かったのは、インターネットを全く使わない子ではなく、１時間以内で使っている子供たちだったとの結果が出たそうです。適度なネット活用は学力向上にも資するものです。その点も考慮して、この時間設定にしたことを御理解ください。

また、「人の悪口を書かない」「保護者の許可なくネット上で知り合った人と会わない」も、ぜひ共通理解したい項目です。ネット上の誹謗中傷によるいじめはいつどこで起こってもおかしくない問題です。また、他地域の過去の事例から、特に夏休みには、ネット上で知り合った人と子供が実際に会ってしまうという事件の発生も予測されます。このルールの共通理解によって、子供たちがトラブルに巻き込まれることを防ぎたいと思います。

なお、こうしたルールの大前提になるのは、フィルタリング機能の有効活用です。何も防御するもののないインターネットは、例えるならば、鍵をかけていない家のようなものだ、とおっしゃる識者の方もいました。各御家庭では何らかの対応をしてくださっていることと存じますが、今一度、お子様が触れるインターネット環境の御確認もよろしくお願いいたします。

「タブレットのルール」は、２学期以降、本格的にタブレットを活用する際の指針です。学校でもこれから各学年の実態に応じて指導しますが、特に２学期以降、御家庭にこのタブレットを持ち帰ってもらう可能性があります。その時にこのルールの内容に沿って御家庭でもタブレットを使わせていただければ幸いです。

今回の「十小ファミリーe ルール」は、内容が多く、一度に全部を理解することは難しいと思いますので、このことをすべて理解してからインターネットに触れる、ということではなく、活用の手引きとしてもお使いいただきたいと思います。例えば、メールを送る練習をする時に、「この内容で大丈夫かな？」と、このルールと照らし合わせながら確認してから送信する、といったことも考えられます。これからも本校では、望ましいインターネット・タブレットの活用を通して、子供たちの情報モラル意識の向上、情報活用能力の育成を図ってまいります。改めて１学期皆様からいただいた御協力に深く感謝申し上げます。よい夏休みをお過ごしください。